

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大	事業	001	環境衛生事業	中	事業	01	環境衛生事務事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令					
根拠例規	有	公衆浴場基準条例			
関連計画・マニュアル					

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	0	712	849	△ 712
	人件費	2,006	2,452	1,813	△ 447
	総事業費	2,006	3,164	2,662	△ 1,159
人 員	正職員	0.30 人	0.35 人	0.27 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.35 人	0.27 人	△ 0.05 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,006	3,164	2,662	△ 1,159

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 公衆浴場法に該当する施設営業者への設備補修経費の補助により公衆浴場の運営を支援し、地域住民の公衆衛生の向上に資する。</p>	
<p>【事業の概要】 ○補助金 0千円 公衆浴場設備整備事業費補助金 (タイル張替、配管補修等) H30実績なし</p>	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	軒	目標		1	1	1	1
			実績		0	1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進につながり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図りました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	この事業は県の補助事業に該当するものに対して実施しており、設備の改修等は公衆浴場の経営及び衛生上不可欠です。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	環境衛生事務事業	継続	公衆浴場の改修等にかかる費用のうち、県の補助制度と同比率の3分の1にかかる費用を補助していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	市内に補助対象となる公衆浴場は1軒であり、現状維持が精一杯という状況であるため、当面は継続とし、県が補助制度を廃止するか、公衆浴場がなくなるときに廃止を検討します。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大事業	101	狂犬病予防事業			中事業	01	狂犬病予防事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	狂犬病予防法			
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	3,825	3,873	3,343	△ 48
	人件費	7,888	8,619	5,303	△ 730
	総事業費	11,713	12,492	8,646	△ 778
人員	正職員	1.18 人	1.23 人	0.79 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.18 人	1.23 人	0.79 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,895	3,433	2,313	△ 538
	一般財源	8,818	9,059	6,333	△ 240

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 県から事務委任されている畜犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等事務を通じて狂犬病の発生と蔓延の防止を図る。

【事業の概要】

畜犬登録及び狂犬病予防接種

- 発行数
 - 鑑札 373 件
 - 注射済証 3,274 件
- 報償費 369 千円
 - 犬のメモリアル給付金 (123件)
- 需用費 145 千円
 - 事務用消耗品費 (鑑札、注射済票他)
- 役務費 256 千円
 - 通信運搬費 (集合注射案内郵便料)
- 委託料 2,720 千円
 - 犬の登録事務等委託料 796 千円
 - 犬猫等動物死体処理委託料 1,924 千円
- 補助金 335 千円
 - 野良猫の不妊手術事業補助金 (メス 40件 オス 11件)

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	%	目標	70	70	70	70	70
			実績		77	75	69	69
			達成率(%)	0.0	110.0	107.4	98.3	99.0
指標の説明								
指標	独自指標	件	目標	350	350	350	350	350
			実績		356	508	236	263
			達成率(%)	0.0	101.7	145.1	67.4	75.1
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	狂犬病予防接種の啓発について継続的に行い、動物病院との連携を密にし、個別接種の利便性を広く周知し、接種率向上に努めています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 接種率の向上及び登録数を正確に把握するため、新たな施策を検討します。
これまでの見直しや改善等の実績	広報等により、未接種者に対し接種を呼びかけています。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	狂犬病予防事業	継続	継続して狂犬病予防接種の啓発を行い、接種率の向上に努めていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	平成29年度よりスタートさせたメモリ給付金事業にあわせ、狂犬病予防注射の接種及び死亡届の促進を図ります。また、狂犬病予防注射の未接種者に対し接種を呼びかけ、接種率向上を目指します。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
大事業	001	公害対策事業	中事業	01	公害対策事業	
小事業						他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-3	公害対策の推進		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境関係諸法令			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 大気や水質等の調査分析、協定事業所等との協定項目を定期的、継続的に調査分析することにより、公害の未然防止と市民の健康で安全かつ快適な生活を確保する。

【事業の概要】

- 需用費 163 千円
 - ・公害対策用消耗品 78 千円
 - ・光熱水費（大気汚染観測局電気料） 85 千円
- 役務費 91 千円
 - ・通信運搬費（大気汚染観測局電話料） 70 千円
 - ・検査手数料 18 千円
 - ・火災保険料（大気汚染観測局建物災害共済金） 3 千円
- 委託料 5,904 千円
 - ・大気汚染監視テレメーターシステム保守委託料 313 千円
 - ・大気汚染測定機保守委託料 1,685 千円
 - ・公害対策分析委託料 3,906 千円
 （河川水質、工場排水、地下水、ダイオキシン、悪臭特定施設、自動車騒音、土壌、水質）

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	6,158	5,292	7,283	866
	人件費	4,345	4,905	5,706	△ 560
	総事業費	10,503	10,197	12,989	306
人員	正職員	0.65 人	0.70 人	0.85 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.65 人	0.70 人	0.85 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,076	1,073	1,159	3
	一般財源	9,427	9,124	11,830	303

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	河川水質の環境保全項目達成率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		100	100	98	97
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	98.1	97.4	
独自指標	指標の説明 河川の水質調査における環境保全項目の達成率							
指標	苦情調整件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		97	79	53	102
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明 環境推進課に連絡があった苦情件数							
指標	規制値の超過企業数		目標	0	0	0	0	0
			実績		4	2	4	4
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明 立入調査した企業の内、規制値の超過企業数							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	継続的に調査分析することにより、公害の未然防止及び自然環境・生活環境の保全を図りました。また、規制値を超過している企業に対し改善の指導を行い、改善されました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	公害を未然に防ぐために、現状の調査分析を継続的に行う必要があります。規制値を超過している企業が毎年出てくることから、監視の意味も含め、調査分析および改善の指導は、今後も必要と考えます。苦情に関しては、法や市の条例で規制できないものも多いため、根本的な解決が難しい場合が多いですが、生活環境の保全を確保するために、苦情者、原因者から話をよく聞き、調整にあたる必要があります。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	公害対策事業	継続	自然環境、生活環境の保全を図るために、調査分析を実施していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	自然環境、生活環境の保全を図るために、調査分析を継続していきます。緊急を要する場合や新しい公害が発生した場合は、状況に応じて対応していきます。また、苦情に対してはできるだけ早急に対応し、公平な立場で解決を目指します。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大事業	051	環境保全事業			中事業	01	環境保全事務事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境基本法			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	100	180	100	△ 80
	人件費	2,540	4,765	4,028	△ 2,224
	総事業費	2,640	4,945	4,128	△ 2,304
人員	正職員	0.38 人	0.68 人	0.60 人	△ 0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.38 人	0.68 人	0.60 人	△ 0.30 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,640	4,945	4,128	△ 2,304

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 環境保全に関する協議団体へ加入することにより、県民が一体となった環境保全に関する運動の実践を図る。また、環境審議会においては、環境基本計画、環境の保全に関する基本的な事項について審議する。</p>	
<p>【事業の概要】 ○負担金（環境ふくい推進協議会負担金）</p>	100 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	市町環境連携事業	申請数	目標	1	1	1	1
			実績		1	1	1	
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		環境ふくい推進協議会が補助している事業への申請						
指標	独自指標	環境審議会開催回数	回数	目標	2	2	2	2
			実績		0	1	2	
			達成率(%)	0.0	0.0	50.0	100.0	
指標の説明		環境審議会の開催回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		環境ふくい推進協議会の補助金を利用し、河川のクリーンキャンペーンを行いました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	市の環境に関する現状や問題点を洗い出し、環境審議会で審議する案件がないか内部で検討する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	環境保全事務事業	継続	坂井市に多数設置が検討されている再生可能エネルギー等について坂井市への影響がないか環境審議会で審議していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	今後も環境ふくい推進協議会の補助金を利用し、環境美化活動を行います。また、将来的に問題となってくるであろう環境の案件について洗い出しを行い、環境審議会で審議し、市としての環境政策の方向性を打ち出していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	令和5年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-3	安全で安心な地域づくりの推進
	施策項目	環境に配慮した社会基盤の整備				
実施事業名 (小事業)	地球温暖化防止対策事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	地球温暖化防止対策事業 電気自動車急速充電器置の支援 設置の対象が公衆用としているため観光施設や商業施設、宿泊施設に限定されることや市内の主な施設などはすでに設置されていることや自己負担額が大きいなどの理由により普及が進んでいない状況である。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全事業
大	事業	101 環境基本計画推進事業	中	事業	01 環境基本計画推進事務事業	
小	事業					他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境基本法			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	2,629	3,509	1,022	△ 880
	人件費	4,145	5,255	6,713	△ 1,111
	総事業費	6,774	8,764	7,735	△ 1,991
人員	正職員	0.62 人	0.75 人	1.00 人	△ 0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.62 人	0.75 人	1.00 人	△ 0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	1,900	0	△ 1,900
	一般財源	6,774	6,864	7,735	△ 91

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
環境に対する意識の向上や環境保全の活動を広げるため、環境保全団体への支援やイベント、環境教育講座等を実施し、環境基本計画の推進を図る。

【事業の概要】

- 報償費 7 千円
- 需用費 253 千円
 - ・消耗品費（節電コンテスト参加者用景品、こどもエコひろば用材料費） 56 千円
 - ・食糧費（こどもエコひろばスタッフ弁当、お茶） 45 千円
 - ・印刷製本費（エコひろば、リサイクル施設見学チラシ） 152 千円
- 委託料 756 千円
 - ・環境基本計画推進企画運営委託（エコネイチャー・さかい） 676 千円
 - ・こどもエコひろば駐車場委託、イベント運営委託 80 千円
- 使用料及び賃借料 313 千円
 - ・車両借上料（リサイクル施設見学バス借上料） 306 千円
 - ・入場料（リサイクル施設見学ツアー入場料） 7 千円
- 補助金 1,300 千円

エコアクションさかい活動事業補助金

活動団体名	種類	年目	補助額
えろもんのふけを守る会	一般	2年目	20万円
福井グッド・トイ委員会さかい	一般	2年目	20万円
環境シティズンシップ教育の会	一般	2年目	20万円
Greenz' s eco	一般	1年目	30万円
さかい環境を考える会	一般	1年目	30万円
チーム・サン（福井工業大学）	学生		10万円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	成人向け環境講座の開催数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績		3	3	4	3
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	133.3	100.0	
指標の説明		成人向け環境講座の開催数						
指標	子ども向け環境出前講座の開催数	回	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	8	5
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	200.0	125.0	
指標の説明		子供向け環境出前講座の開催数						
指標	不法投棄・野外焼却防止のパトロール実施数	回	目標	8	8	8	8	8
			実績		6	6	6	5
		達成率(%)	0.0	75.0	75.0	75.0	62.5	
指標の説明		不法投棄・野外焼却防止のためのパトロール実施数						
指標	エコアクションさかい活動団体申請数	件	目標	3	3	3	0	0
			実績		3	4	0	0
		達成率(%)	0.0	100.0	133.3	0.0	0.0	
指標の説明		エコアクションさかいの活動申請団体数（新規団体）						
指標に基づく評価		環境講座の開催数は、概ね達成されていますが、さらに講座内容を充実させるなど、目標以上の成果を上げられるよう取り組んでいきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	環境基本計画の推進には、環境モラルの向上や環境に対する意識の向上が必要ですが、行政だけでは行き届かない部分があるため、環境団体の活動を通して市民に広がるような仕組みづくりが必要であると考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	環境基本計画推進事務事業	改善（見直し）	環境基本計画の推進のため、市民から市民への環境に関する取組を広める仕組みを構築していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	環境基本計画の推進を継続的に取り組んでいきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大事業	101	環境基本計画推進事業			中事業	06	地球温暖化防止対策事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	エネルギーの使用の合理化に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	省エネルギー管理中長期計画、坂井市環境基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	15	403	4,684	△ 388
	人件費	3,343	5,255	4,363	△ 1,913
	総事業費	3,358	5,658	9,047	△ 2,301
人員	正職員	0.50 人	0.75 人	0.65 人	△ 0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.50 人	0.75 人	0.65 人	△ 0.25 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	3,996	0
	一般財源	3,358	5,658	5,051	△ 2,301

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 市が率先して地球温暖化防止に取り組むとともに、市内事業所及び市民に広く地球温暖化に関する情報提供とその対策について周知、啓発していくことで市内から排出される温室効果ガス排出量の削減を図る。</p>
<p>【事業の概要】 ○報償費（環境標語コンテスト、節電コンテスト景品）</p>
15 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市長部局エネルギー消費量削減	%	目標	-1	-1	-1	-1	-1
			実績		-0.5	2.3	1.9	-5.0
			達成率(%)	0.0	50.0	△ 230.0	△ 190.0	500.0
指標の説明		市長部局の施設におけるエネルギー消費量の対前年比						
指標	節電コンテストの参加割合	%	目標	70	70	70	70	70
			実績		28	20	0	0
			達成率(%)	0.0	40.0	28.6	0.0	0.0
指標の説明		節電コンテスト対象者（講座受講者）における参加割合						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市長部局の施設の増設や移管に伴い、エネルギー消費量が増加傾向にあるため、今後、さらに省エネルギーの意識づけを行います。 各小学校に地球温暖化防止の講座後に節電コンテストの参加を依頼していますが、多くの人に参加してもらえよう学校と連携を密にし、参加を促します。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	市長部局の施設については、施設の増設や移管によりエネルギー消費量が年々増加しています。現状を市長部局に周知し、エネルギー消費量を抑えるための対策を各施設で取り組んでもらう必要があります。また、市民に対しても温暖化防止の必要性をさらに訴えていき、省エネルギーの取り組みを呼びかける必要があります。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	地球温暖化防止対策事業	継続	エネルギー消費量が継続的に増加している施設に対して外部の機関を利用しエネルギーの使用実態を把握することでエネルギーの削減に努めます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	今後も広報紙、ケーブルテレビを通じて、地球温暖化防止の取り組みの周知を行います。また、市長部局においてエネルギー消費量が、前年比と比べて大幅に増減している施設についてはヒアリングを行い、原因究明と対策を講じていきます。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-3	安全で安心な地域づくりの推進
	施策項目	環境に配慮した社会基盤の整備				
実施事業名 (小事業)	地球温暖化防止対策事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	地球温暖化防止対策事業 電気自動車急速充電器置の支援 設置の対象が公衆用としているため観光施設や商業施設、宿泊施設に限定されることや市内の主な施設などはすでに設置されていることや自己負担額が大きいなどの理由により普及が進んでいない状況である。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大事業	101	環境基本計画推進事業			中事業	11	環境美化事業		
小事業	01	環境美化事業			03	海岸漂着物地域対策推進事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生			環境推進課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
自然豊かな環境を将来に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者及び関係機関と情報を共有し連携しながら、身近な環境保全への取り組みや美化意識の醸成を図る。	
【事業の概要】	
◆環境美化事業	8,271 千円
○報償費	7,335 千円
・地域美化協力金	
○需用費	99 千円
・消耗品費（清掃活動用ごみ袋）	
○委託料	837 千円
・一般廃棄物収集運搬委託料	464 千円
クリーンキャンペーン	
（燃えるゴミ 4,895袋、燃やせないゴミ1,196袋、収集車10台分）	
河川クリーンキャンペーン	
（燃えるゴミ 1,504袋、燃やせないゴミ 595袋、収集車8台分）	
・不法投棄廃棄物処理委託料（廃タイヤ、廃家電等）	373 千円
◆海岸漂着物地域対策推進事業	468 千円
○需用費	82 千円
・消耗品費（ゴミ袋、軍手等）	68 千円
・食糧費（清掃活動参加者お茶）	14 千円
○委託料	386 千円
・一般廃棄物収集運搬委託料	386 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	8,739	8,362	1,005	377
	人件費	6,083	4,414	3,424	1,669
	総事業費	14,822	12,776	4,429	2,046
人員	正職員	0.91 人	0.63 人	0.51 人	0.28 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.91 人	0.63 人	0.51 人	0.28 人
財源内訳	国県支出金	375	176	197	199
	その他特定財源	0	50	50	△ 50
	一般財源	14,447	12,550	4,182	1,897

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	河川クリーンキャンペーン参加者数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績		1,970	1,367	1,940	2,000
			達成率(%)	0.0	98.5	68.4	97.0	100.0
指標の説明		河川クリーンキャンペーン参加者数						
指標	クリーンキャンペーン参加者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績		9,526	8,927	9,031	10,682
			達成率(%)	0.0	95.3	89.3	90.3	106.8
指標の説明		クリーンキャンペーン参加者数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	30年度のクリーンキャンペーンおよび河川クリーンキャンペーンでは、前年度よりも参加者が増となりました。今後も多くの市民に参加してもらえるよう周知の徹底に努めます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	クリーンキャンペーン等で、市民が公共地を清掃することにより環境美化を保っていますが、ごみの発生を抑えるために、ポイ捨て防止や不法投棄の防止の啓発が必要と考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	環境美化事業	継続	地区の社会奉仕活動などを継続して支援していくため地域美化協力金を継続していきます。
	海岸漂着物地域対策推進事業	継続	今後も継続して市民ボランティア等と協力した漂着ごみ処理に取り組んでいきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		継続	方向性の理由	両クリーンキャンペーンについては、市内一斉に行うことにより市民の環境美化の意識が保たれていることから、今後も継続して市民に呼びかけることで環境美化の意識向上を図っていきます。地域美化協力金については、環境指導員の謝礼に代わる新規事業として区での美化活動を進めてもらうために、平成29年度より開始していますが、令和元年度に配分方法の検討を行う予定です。また、環境美化活動として公共地の清掃活動も必要ですが、ごみの発生を抑制するためにポイ捨て防止の啓発を積極的に取り組んでいきます。
目標年度	令和2年度			
中長期的な方向性				
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	塵芥処理費
大	事業	001	一般廃棄物収集処理事業	中	事業	01	一般廃棄物収集処理事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	935,922	901,436	787,907	34,486
	人件費	11,365	15,065	13,695	△ 3,701
	総事業費	947,287	916,501	801,602	30,785
人 員	正職員	1.70 人	2.15 人	2.04 人	△ 0.45 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.70 人	2.15 人	2.04 人	△ 0.45 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	163,243	160,876	159,902	2,367
	一般財源	784,044	755,625	641,700	28,418

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 一般廃棄物の適正な分別、収集、運搬、処分等により、公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図る。

【事業の概要】

- 報償費（資源回収チャレンジランキング賞品） 120 千円
- 旅費 41 千円
- 需用費 1,473 千円
 - 消耗品費（不法投棄防止看板購入費他） 257 千円
 - 印刷製本費（ごみカレンダー印刷費他） 1,216 千円
- 役務費 13,080 千円
 - ごみ袋等取扱い手数料他
- 委託料 301,635 千円
 - 一般廃棄物収集運搬委託料 241,798 千円
 - ごみ袋作成委託料 46,754 千円
 - 大型廃品特別収集委託料 10,081 千円
 - ごみ袋保管配送委託料他 3,002 千円
- 負担金及び補助金 619,573 千円
 - 清掃センター負担金 607,519 千円
 - 資源（古紙類）回収奨励金 9,272 千円
 - ごみステーション設置補助金 2,182 千円
 - 魚腸骨収集運搬事業費補助金等 600 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標	808	808	808	808	808
			実績		875	869	881	879
			達成率(%)	0.0	108.2	107.5	109.0	108.8
指標の説明								
指 標	リサイクル率	%	目標	27	27	27	27	23
			実績		11	12	12	13
			達成率(%)	0.0	40.7	43.3	45.6	56.1
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	リサイクル率は、市が直接回収したもののみを対象として算定しており、民間リサイクル業者が直接収集したり、小売店において店頭回収された資源ごみは考慮されていません。そのため、リサイクル率を適正に評価するため、民間回収を含めた算定を行い評価する手法を検討する必要があります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	事業所に対して自己責任による資源ごみの分別を促すことにより、ごみの減量やリサイクル率の向上を図ることは可能です。特別集積地における事業所の取り扱いについて、民間収集業者との相対契約による収集に切り替えていくことでコスト削減することは可能です。		
これまでの見直しや改善等の実績	家庭系ごみの組成調査を実施し、燃やせるごみとして排出されていた雑がみをリサイクルするため、市民が参加しやすいリサイクルシステムを構築しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	一般廃棄物収集処理事業	継続	改定した一般廃棄物処理基本計画の方向性に基づき、ごみ減量および収集体制の改善に向けた取り組みを実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	方向性の理由	特別集積地の事業系収集手数料について、適正な費用負担を求められるよう見直しを行います。また一般廃棄物処理基本計画の改定により今後のごみ減量施策および収集体制の方向性を決定し、実現に向けて取り組みます。
目標年度	令和2年度			
中長期的な方向性				
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	し尿処理費
大	事	業	001	し尿処理事業	中	事	業	01	坂井地区広域連合事業（環境衛生）
小	事	業							他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	69,672	63,319	67,885	6,353
	人件費	2,006	2,803	1,343	△ 797
	総事業費	71,678	66,122	69,228	5,556
人員	正職員	0.30 人	0.40 人	0.20 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.40 人	0.20 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,267	1,998	2,010	269
	一般財源	69,411	64,124	67,218	5,287

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
し尿及び浄化槽汚泥の適正な収集、運搬、処分等の処理を行う。

【事業の概要】
汚泥再生処理施設さかいクリーンセンター等の運営経費、周辺地域整備助成に対する坂井市の負担金。

○負担金 69,672 千円
坂井地区広域連合負担金（環境衛生）

し尿及び浄化槽汚泥処理に要する経費（構成市負担金105,177） 単位：千円			
均等割（10%分）	10,764	負担割合 0.5000	5,382
投入量割（90%分）	96,881	負担割合 0.6804※	65,917
合計	107,645	※H28投入量で計算	71,299

※前年度精算返還額△2,468千円（坂井市負担分△1,627千円）

事業内容	
【経費】	108,854 千円
・清掃総務費	10,782 千円
・し尿処理費	98,070 千円
・基金積立金	2 千円
【財源】	112,824 千円
・構成市負担金	105,177 千円
・施設使用料	2,358 千円
・土地賃借料	2,536 千円
・物品売払収入他	2,753 千円

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	し尿処理量	目標	7,000	9,000	9,000	9,000	10,000
		実績		7,342	8,177	8,779	9,316
		達成率(%)	0.0	81.6	90.9	97.5	93.2
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	設計・管理の段階から一貫した方式が採用された施設であり、施設の維持管理や運営についても特別目的会社（SPC）が行っています。また、広域連合という広域的行政がいろいろな業務と一緒に役割を担うことにより、人的・経費的に効率化が図られています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	施設の維持管理や運営は特別目的会社（SPC）が行うことにより、モニタリング機能が強化されています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	坂井地区広域連合事業（環境衛生）	継続	公共下水道の普及により、水洗化率が進んでいますが、未普及地区も残存しており、公共下水道の受益を受けられない市民及び地域の環境や生態系の影響、公衆衛生上からも必須の業務であるため継続していきます。。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	し尿処理業務は、公衆衛生上からも公衆性が高く、市が実施すべき業務です。しかし、業務においては、専門業者に運営を委託することにも必要性があります。公共下水道の普及により、水洗化率が進んでいますが、未普及地区も残存しています。公共下水道の受益を受けられない市民及び地域の環境や生態系の影響、公衆衛生上からも必須の業務です。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	し尿処理費
大事業	001	し尿処理事業			中事業	06	浄化槽設置整備補助事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法			
根拠例規	有	坂井市下水道区域外における合併浄化槽設置整備事業補助金			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 公共下水道事業計画区域の区域外において、合併処理浄化槽を設置に要する経費の一部を支援することにより、生活環境の保全及び公共衛生の向上を図ります。

【事業の概要】
 ○補助金 〇千円
 H30 実績なし

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	0	0	1,586	0
	人件費	869	1,051	1,343	△ 182
	総事業費	869	1,051	2,929	△ 182
人員	正職員	0.13 人	0.15 人	0.50 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.13 人	0.15 人	0.50 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	869	1,051	2,929	△ 182

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	合併浄化槽の設置補助件数の実績	件	目標		1	1	1	2
			実績		0	0	2	1
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	200.0	50.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		補助金により設置者の負担が軽減され、生活排水処理が促進されることは、生活環境の保全に結びついています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	少子・高齢化は、長期に渡ることが確定的であり、人口の急激な減少は避けられません。このような現状では、建設、維持管理に多額の費用を要する大規模な処理施設が必要な集合処理より、個別に設置、廃止することが容易な合併浄化槽設置の推進が必要です。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	浄化槽設置整備補助事業	継続	計画区域外の住民の負担と区域内の住民の負担との公平性を図るため、また単独浄化槽および汲み取りからの転換を促すため継続していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	計画区域外の住民の負担と区域内の住民の負担との公平性を図るため、今後も継続とします。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					